

## 業績目録(平成29年)

教室名 疼痛・緩和医療学

### (A-a) 英文著書

該当なし

### (A-b) 和文著書

- 1 細川豊史. 編集協力, 新版 がん緩和ケアガイドブック監修日本医師会. 青海社, 東京: 2017.
- 2 志真康夫, 恒藤暁, 細川豊史, 宮下光令, 山崎章郎 (編). ホスピス緩和ケア白書 2017 緩和デイケア・がん患者サロン・デイホスピス. 青海社, 東京: 2017.
- 3 志真康夫, 恒藤暁, 細川豊史, 宮下光令, 山崎章郎 (編). ホスピス緩和ケア白書 2017 小児緩和ケアの現状と展望. 青海社, 東京: 2017
- 4 上野博司, 細川豊史. がん患者の慢性疼痛. 非がん性慢性疼痛に対するオピオイド鎮痛薬処方ガイドライン改訂第2版, 日本ペインクリニック学会 非がん性慢性疼痛に対するオピオイド鎮痛薬処方ガイドライン作成ワーキンググループ編. 真興交易医書出版部, 東京: pp111-117, 2017.
- 5 上野博司, 小杉志都子, 西木戸修. 薬物療法. 慢性疼痛治療ガイドライン, 慢性疼痛治療ガイドライン作成ワーキンググループ編. 真興交易医書出版部, 東京: pp29-74, 2018.
- 6 上野博司. 抗うつ薬. 医学のあゆみ BOOKS ペインクリニック診療 38 のエッセンス(細川豊史編), pp80-84, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2018.
- 7 大西佳子, 細川豊史. 非がん性慢性疼痛患者における注意点. スーパー総合医 緩和医療・終末期ケア (長尾和宏 編). 中山書店, 東京, pp38-42, 2017.
- 8 大西佳子, 細川豊史. 緩和医療における神経ブロック. スーパー総合医 緩和医療・終末期ケア (長尾和宏 編). 中山書店, 東京, pp54-60, 2017.
- 9 大西佳子, 細川豊史. オピオイド鎮痛薬導入のタイミングや開始量, 種類について教えてください. JOHNS: 東京医学社, 東京, pp1271-1275, 2017.
- 10 岡本明子, 細川豊史, 田口哲也. 緩和ケア. 乳癌学 最新の診断と治療 VIII-6(3). 日本臨牀社, 東京, pp438-442, 2017.

(B-a) 英文総説

- 1 Hosokawa T. The present status of the palliative care in the cancer field in Japan. *Shiyong Tengtongxue Zazhi* 13(4): 2017.8 (in Chinese)

(B-b) 和文総説

- 1 細川豊史. 緩和ケア, どう変わっていきますか?. *日本医事新報* (4845): 16-17, 2017.
- 2 細川豊史, 佐伯 茂. 慢性痛患者の治療と周術期管理・最近の話題によせて. *日本臨床麻酔学会誌* 37 (3) : 380, 2017.
- 3 細川豊史. 印象記 第 22 回日本緩和医療学会学術大会. *臨床麻酔* 41 (8) : 1171-1172, 2017.
- 4 上野博司. がん患者の非がん性疼痛. *月刊薬事* 60(5): 850-854, 2018.
- 5 黒星晴夫, 波多野貴彦, 細川豊史. 婦人科がん患者の緩和ケア. *産科と婦人科* 84 (9) : 2017.
- 6 深澤圭太. 症例検討 腰痛 椎間板ヘルニア:“徹底した”保存療法. *LiSA* 24(2): 162-167, 2017.
- 7 深澤圭太. “ピリン禁”と自己申告する患者に対する鎮痛剤の使用上の注意点は何か. *LiSA* 24(4): 374-377, 2017.
- 8 深澤圭太. 三叉神経痛の up to date III. 治療 5. 薬物治療. *ペインクリニック* 38 : 757-763, 2017.
- 9 深澤圭太. 神経障害性疼痛: 内臓痛・関連痛. *プロフェッショナルがんナーシング Vol.7 No.4* : 341-347, 2017.
- 10 権哲, 細川豊史. がん疼痛とケミカルコーピングの考え方. *薬局* 68(8): 44-49, 2017.
- 11 山代亜紀子. 緩和ケアの最前線: がんと診断された時からの緩和ケア. *BIO Clinica(0919-8237)* 32(13): 1070-1075, 2017.
- 12 深澤まどか, 細川 豊史. がん性疼痛のチーム医療. 京都府立医科大学附属病院の痛み診療. *ペインクリニック* 38(8): 1031-1038, 2017.
- 13 波多野貴彦, 黒星晴夫, 細川豊史. 婦人科がん患者の緩和ケア; 神経ブロック. *産科と婦人科* 84(3): 303-308, 2017.
- 14 岡本明子, 細川豊史. 臨床におけるオピオイド鎮痛薬依存の現況と対策. *ペインクリニック* 38 別冊春号: 127-136, 2017.

(C-a) 英文原著

- 1 Taniguchi A, Fukazawa K, Hosokawa T. Selective Percutaneous Controlled Radiofrequency Thermocoagulation of the Gasserian Ganglion To Control Facial Pain Due to Medication-Related Osteonecrosis of the Jaw. J Palliat Med. 20(10) : 1171-1174, 2017.
- 2 Imashuku Y, Kitagawa H, Mizuno T, Fukushima Y. Hyperkalemia caused by rapid red cell transfusion and the potassium absorption filter. Saudi J Anaesth. 11(1): 114-116, 2017.
- 3 Fujimoto S, Iwawaki Y, Takishita Y, Yamamoto Y, Murota M, Yoshioka S, Hayano A, Hosokawa T, Yamanaka R. Effects and safety of mechanical bathing as a complementary therapy for terminal stage cancer patients from the physiological and psychological perspective: a pilot study. Japanese Journal of Clinical Oncology 10: 1-9, 2017.
- 4 Kanbayashi Y, Matsumoto Y, Kobayashi T, Horiike S, Hosokawa T, Taniwaki M. Predicting risk factors for Varicella Zoster virus infection and postherpetic neuralgia after hematopoietic cell transplantation using ordered logistic regression analysis. Annals of Hematology. 2017.

(C-b) 和文原著

- 1 藤原恵, 谷口彩乃, 細川豊史. メサドンへの stop and go 法によるスイッチングに持続硬膜外ブロックを併用し, がん疼痛ケアに成功した1例. ペインクリニック 38(5): 665-670, 2017.
- 2 波多野貴彦, 細川豊史, 深澤圭太. 他施設からの紹介患者の上腹部がん性疼痛に対するコーンビームCTを用いた内臓神経ブロック (腹腔神経叢ブロック)の有効性の検討. ペインクリニック 38(9): 1229-1235, 2017.

(D) 学会発表

1) 特別講演、教育講演等

- 1 細川豊史. この10年の緩和ケア. 平成28年度厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発活動 医療従事者向け講演会, 2017.2.12, 東京.
- 2 細川豊史. 基調講演; 緩和ケア, 今後の展望. 平成28年度がん医療従事者多職種合同研修会, 2017.2.25, 東京.
- 3 細川豊史. 特別講演; がん患者の非がん性慢性疼痛の診断と治療について. 第11回NPOいたみラボ医療者研修会 医療者向け「慢性の痛みワークショップ」, 2017.2.26, 東京.

- 4 細川豊史. 日本緩和医療薬学会にこれからも大いに期待する. 日本緩和医療薬学会 10 周年記念講演会, 2017. 3. 12, 東京.
- 5 細川豊史. 特別講演; 緩和ケア—厚生労働省と地域が考えるその現状と近未来—. そして知ってほしい痛みの話. 神戸市北区医師会・JCHO 神戸中央病院合同学術講演会, 2017. 3. 15, 神戸.
- 6 細川豊史. 会長講演; 慢性疼痛克服へのアプローチ“痛みからの診断”. 第 46 回日本慢性疼痛学会, 2017. 2. 17, 京都.
- 7 細川豊史. ランチョンセミナー4、がん疼痛における第一段階鎮痛薬の使用法そしてオピオイド鎮痛薬への進め方. 第 21 回日本緩和医療学会学術大会, 2017. 6. 23, 横浜.
- 8 細川豊史. 教育講演; 日本における神経ブロックの現状と“がん”疼痛ケア. 中国疼痛医学大会及び疼痛科成立十周年記念大会, 2017. 7. 15, 北京.
- 9 細川豊史. 基調講演; 岐阜スイーツセミナー 痛みと禁煙—がん関連痛を中心に—. 日本ペインクリニック学会第 51 回大会, 2017. 7. 21, 岐阜.
- 10 細川豊史. 特別講演; The present status of the palliative care in the cancer field in Japan. 中国疼痛医学大会及び疼痛科成立十周年記念大会, 2017. 7. 15, 北京.
- 11 細川豊史. 教育講演; 緩和ケアにおける薬剤師の重要な役割—オピオイド鎮痛薬の正しい使い方を中心に—. 近畿薬剤師合同学術大会, 2018. 2. 4, 京都.
- 12 上野博司. がんと診断されたときから始める緩和ケア～基本的緩和ケアの普及と専門的緩和ケアの提供体制の充実を目指して～. 日本医療マネジメント学会 第 11 回兵庫支部学術集会. 2017.2.26. 明石.
- 13 上野博司. がん患者の神経障害性疼痛をどう攻略するか～薬物療法を中心にした治療戦略～. ランチョンセミナー. 第 22 回日本緩和医療学会学術大会. 2017.6.23. 横浜.
- 14 上野博司. オピオイド鎮痛薬の有害事象マネジメント. ランチョンセミナー. 第 2 回関西緩和医療研究会. 2017.11.12. 京都.
- 15 上野博司. 慢性疼痛治療におけるオピオイド鎮痛薬の位置づけ～最近のガイドラインの動向を中心に～. イブニングセミナー. 第 47 回日本慢性疼痛学会 2018.2.16. 大阪.
- 16 上野博司. がん疼痛に対する各種オピオイド鎮痛薬の使い分け～ヒドロモルフォンをどう使うか～. ランチョンセミナー. 第 2 回全国在宅医療医歯薬連合会全国大会. 2018.5.27. 京都.

- 17 上野博司. がん疼痛に対する各種オピオイド鎮痛薬の特性と使用法. 日本専門医機構認定麻酔科領域講習 9. 日本ペインクリニック学会第 52 回大会. 2018.7.19. 東京.
- 18 上野博司. 慢性疼痛治療における薬物療法の位置づけ～日本発の慢性疼痛治療ガイドラインを読み解く～. ランチョンセミナー15. 2018.7.21. 日本ペインクリニック学会第 52 回大会. 東京.
- 19 上野博司. 慢性疼痛に対する薬物治療戦略～アセトアミノフェンの位置づけを考える～. ランチョンセミナー5. 第 11 回日本運動器疼痛学会. 2018.12.2. 大津.
- 20 山代亜紀子. 難治性がん疼痛に対応する～鎮痛補助薬を中心に～, 日本緩和医療薬学会第 18 回教育セミナー, 2017. 11. 19, 京都.

## II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 細川豊史. 合同シンポジウム 5; どうなる?がん対策; がん患者とその御家族への緩和ケアその対策の今までとこれから. 第 21 回日本緩和医療学会学術大会, 2017. 6. 24, 横浜.
- 2 細川豊史. シンポジウム 9; 「それぞれの癌」: 最善の治療とは? -緩和医療における先進疼痛管理-. がん患者に生じる様々な痛みとその診断. 第 55 回日本癌治療学会学術集会, 2017. 10. 22, 横浜.
- 3 上野博司. 骨転移に伴う苦痛症状の緩和～疼痛治療専門の緩和ケア診療医の立場から～. 合同シンポジウム 9. 骨転移患者の集学的ケア. 第 22 回日本緩和医療学会学術大会. 2017.6.24. 横浜.
- 4 上野博司. がんサバイバーの慢性疼痛に対する低出力レーザー治療 (LLLТ) の効果. シンポジウム 5. ペインクリニック領域. 第 29 回日本レーザー治療学会. 2017.6.25. 東京.
- 5 上野博司. 緩和ケア病棟における輸血をどうするか. シンポジウム 1. 緩和ケアにおける輸血の問題を考える. 第 2 回関西緩和医療研究会. 2017.11.12. 京都.
- 6 上野博司. 緩和ケアにおけるヒドロモルフォン の位置づけ. シンポジウム 8. 新規オピオイド鎮痛薬の特徴と使い方. 第 23 回日本緩和医療学会学術大会. 2018.6.15. 神戸.
- 7 上野博司. 各種低出力レーザー治療が著効した症例についての検討. シンポジウム S2 「ペインクリニック領域」. 第 30 回日本レーザー治療学会. 2018.6.23. 東京.

- 8 深澤 圭太. 特別シンポジウム「がん患者の慢性疼痛管理」がん患者の痛みに対する神経ブロック療法. 第 46 回日本慢性疼痛会, 2017. 2. 17, 京都.
- 9 深澤 圭太. 脊髄くも膜下鎮痛法の実践. 第 22 回日本緩和医療学会学術大会 交流フォーラム 2. 2017. 6. 24, 横浜.
- 10 深澤圭太. 頸椎椎間関節、C4 頭長筋の解剖. 日本ペインクリニック学会第 51 回大会 共催ハンズオンセミナー1. 2017. 7. 21, 岐阜.
- 11 深澤 圭太. 頸部神経根ブロックにはエコーがベストである. 日本ペインクリニック学会第 51 回大会 Pros Cons セッション 4. 2017. 7. 22, 岐阜.
- 12 権哲. がん患者の慢性化する痛みに対するオピオイド使用. 第 46 回日本慢性疼痛学会, 2017. 2. 17, 京都.
- 13 山代亜紀子. 地域社会で緩和ケアを提供するためには 地域で「ほどよい」連携を 京都府の取り組み. 第 22 回日本緩和医療学会学術大会, 2017. 6. 23-24, 横浜.
- 14 岡本明子. 当院でのメサドン使用症例の検討から:シンポジウム「メサドン」. 第 2 回関西緩和医療研究会, 2017. 11. 12, 京都.
- 15 堀江里奈, 小川覚, 佐和貞治. Problem-Based Learning (2) 「周術期危機管理」; 術中大量出血 ~Hb 値が 3.8g/dL~. 日本臨床麻酔学会第 37 回大会, 2017. 11. 4, 東京.
- 16 茅野綾子. 遺される家族への思いが伝わるコラージュ. シンポジウム;緩和ケアにおけるコラージュ. 日本コラージュ療法学会第 9 回大会, 2017. 9. 16, 京都.

### Ⅲ) 国際学会における一般発表

- 1 Fukazawa K, Hatano T, Taniguchi A, Hosokawa T. A SUCCESSFUL CASE OF CERVICAL SPONDYLOTIC RADICULOPATHY TREATED WITH ULTRASOUND-GUIDED ANTERIOR APPROACH TO CERVICAL NERVE ROOT BLOCK : A CASE REPORT. The 36th Annual Congress of the European Society of Regional Anaesthesia and Pain Therapy 2017, 2017. 9. 15, Lugano.
- 2 Onishi K, Hosokawa T, Yamashiro A. Survey on consciousness concerning celiac plexus ( visceral nerve) block for the departments which refer the patients. 12th APHC, 2017. 7. 27, Singapore.
- 3 Yamashiro A, HosokawaT, OnishiK. A STUDY ON PAIN MANAGEMENT OF MALIGNANT PSOAS SYNDROME, 12th Asia Pacific Hospice Conference 2017 (APHC 2017), 2017. 7. 28, Singapore.

- 4 Taniguchi A, Fukazawa K, Hosokawa T. Radiofrequency Thermocoagulation of the Gasserian Ganglion to Control Facial Pain due to Medication-related Osteonecrosis of the Jaw. 15<sup>th</sup> World Congress of the European Association for Palliative Care, 2017.5.19, Spain.
- 5 Hatano K, Fukazawa K., Taniguchi A., Hosokawa T. Effect of splanchnic nerve block with cone beam CT for the patients with epigastric malignancies. 15<sup>th</sup> World Congress of the European Association for Palliative Care, 2017.5.19, Madrid.

E 研究助成（競争的研究助成金）

該当なし

公的助成

該当なし

財団等からの助成

該当なし